

## 肝属川における水質事故について

- 肝属川（肝属郡肝付町宮下付近）において油の流出が確認されました。
  - 発生源は宮下第2樋管（肝属川右岸8k475）の水路付近（調査中）
  - 宮下第2樋管にオイルフェンス、油吸着マット、及びその下流の池之園橋（肝属川5k000付近）にオイルフェンスを設置済み。（別添図参照）
  - 肝属川水質汚濁防止連絡協議会の構成機関（肝付町、東串良町、大隅地域振興局等）には、事務局から連絡済み。
  - 現在、池之園橋より下流への油流出の有無について調査中。  
（現時点で魚のへい死等の被害情報はありません）
1. 発見日時 : 令和4年1月25日(火) 16時10分頃
  2. 発生場所 : 肝属川右岸8k475 宮下第2樋管の水路より
  3. 発生原因 : 宮下第2樋管の水路付近から河川へ流出  
(河川への流出量は不明、発生源より新たな流出はありません)

<問合せ先> 肝属川水質汚濁防止連絡協議会事務局

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

副所長（河川・砂防） しもむら しんいちろう 下村 慎一郎（内線204）

河川管理課長 たはら ひでき 田原 秀樹（内線331）

電 話0994-65-2996 FAX0994-65-9630

# 令和4年1月25日 肝属川の油流出対策位置図

別添図

- オイルフェンス① 油発生源(調査中)に近い宮下第2樋管付近の水路に設置
- オイルフェンス② 下流の池之園橋付近の肝属川本川に設置

